

First Trust Long/Short Equity ETF
ファーストトラスト ロングショート株式 ETF

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンド III (First Trust Exchange-Traded Fund III)
----------	--

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した
書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第 59 条において準用する同法第 14 条第 4 項及び第 6 項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実に相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及びその代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンヂ・トレーデッド・ファンズ III（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト ロングショート株式 ETF。以下「本ファンズ」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及びその代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンズがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンズは市場リスクに曝されています。これは、本ファンズが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンズのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンズへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンズのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンズのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンズのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンズへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンズに関する詳細な情報が含まれており、本ファンズのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提示するデータや分析が提示されています。

本ファンズのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンズのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンズのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンズへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンズの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト ロングショート株式 ETF（以下「本ファンド」といいます。）の投資目的は、投資家に長期のトータルリターンを提供することです。本ファンドは、通常の条件下では、米国の上場エクイティ証券及び／又は米国の上場エクイティ証券へのエクスポージャーを提供する米国の上場投資信託（以下「ETF」といいます。）へのエクスポージャーを純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも 80%とします。本ファンドは、米国の上場エクイティ証券及び ETF のポートフォリオにおいてロング・ポジション及びショート・ポジションを取るにより投資目的を追求します。本ファンドのポートフォリオには、米国以外の発行体の米国の上場エクイティ証券（預託証券の形で米国内の取引所で取引される米国以外の発行体の証券を含みます。）が含まれる場合があります。

本ファンドのポートフォリオは、エクイティ証券及び ETF のロング・ポジション及びショート・ポジションの両方で構成されます。投資家が有価証券の価格上昇から利益を得ようとしてロング・ポジションを取ることとは対照的に、空売りは、有価証券の価格下落から利益を得ようとして本ファンドが用いる本ファンドの手法です。空売りには、後日同じ有価証券を買い戻して第三者に返却する意図をもって当該第三者から借りた有価証券を売却することを伴います。

エクイティ証券のポートフォリオにおいてロング・ポジションとショート・ポジションの両方を持つことは、相場の動きから独立したリターンを生み出すための一般的な方法です。ロング・ショート・ポートフォリオの利点の一つは、相場の方向性に対するネット・エクスポージャーが低くなる形でロング・ポジションとショート・ポジションを互いに相殺することができる点です。また、空売りの利用により生じる現金残高は、通常は短期金融市場商品として保有されます。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン		累積トータルリターン		
	2023年10月31日に終了した1年間	2023年10月31日に終了した5年間	設立（2014年9月8日）から2023年10月31日までの期間	2023年10月31日に終了した5年間	設立（2014年9月8日）から2023年10月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス					
NAV	10.09%	7.29%	7.15%	42.20%	88.04%
市場価格	10.09%	7.32%	7.15%	42.36%	88.10%
インデックスのパフォーマンス					
S&P 500®Index	10.14%	11.01%	10.47%	68.59%	148.58%

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア 1 口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア 1 口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドの NAV が計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBO は、本ファンドの NAV が計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。2019 年 1 月 1 日以前は、使用されていた価格は、本ファンドの NAV が計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドの NAV を流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV 及び市場リターンには、すべての分配金が NAV と市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

ポートフォリオのセクター・アロケーション	投資総額に占める割合 — ロング・ポジション
情報テクノロジー	23.8%
一般消費財	12.4
ヘルスケア	11.3
通信サービス	9.8
工業	9.7
エネルギー	9.7
金融	9.0
生活必需品	6.3
公益事業	3.6
素材	3.5
不動産	0.9
合計	100.0%

ポートフォリオのセクター・アロケーション	投資総額に占める割合 — 空売り
工業	23.8%
情報テクノロジー	12.4
素材	11.3
一般消費財	9.8
ヘルスケア	9.7
金融	9.7
通信サービス	9.0
生活必需品	6.3
エネルギー	3.6
不動産	3.5
合計	100.0%

投資先上位 10 社	純資産に占める割合
Apple, Inc.	5.3%
Microsoft Corp.	3.9
Vanguard Mega Cap ETF	2.7
NVIDIA Corp.	2.4
Spotify Technology S.A.	2.4
T-Mobile US, Inc.	2.1
Gilead Sciences, Inc.	2.0
KLA Corp.	2.0
PulteGroup, Inc.	1.9
Atlassian Corp., Class A	1.8
合計	26.5%

投資先上位 10 社	純資産に占める割合
Micron Technology, Inc.	-0.9%
Barrick Gold Corp.	-0.9
Lockheed Martin Corp.	-0.9
Air Products & Chemicals, Inc.	-0.9
GE HealthCare Technologies, Inc.	-0.9
Alcoa Corp.	-0.8
Omnicom Group, Inc.	-0.8
Equifax, Inc.	-0.8
Trip.com Group Ltd., ADR	-0.7
Estee Lauder (The) Cos., Inc., Class A	-0.7
合計	(8,3)%

資金配分	純資産に占める割合
普通株式	86.9%
上場投資信託	2.7
マスター・リミテッド・パートナーシップ	0.7
空売りされた普通株式	(30.4)
その他の資産及び負債純額*	40.1

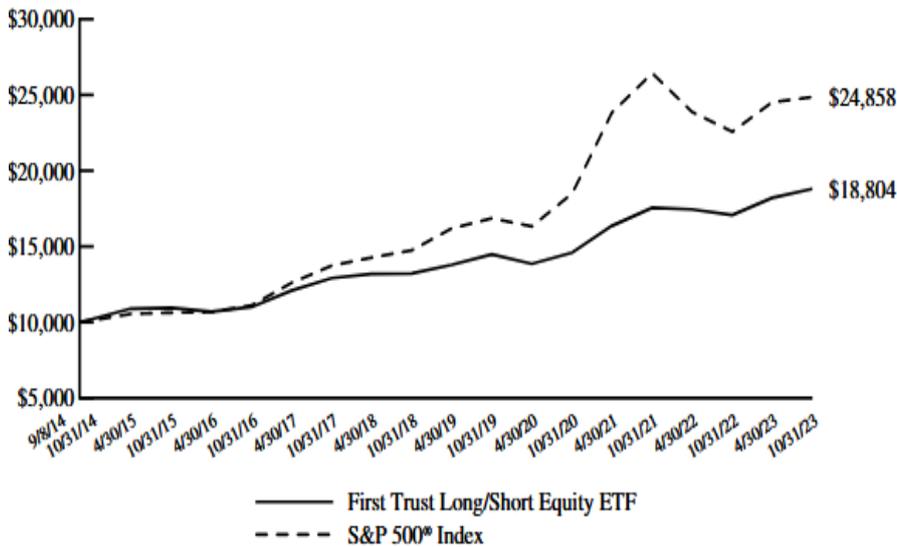
合計

100.0%

* 先物に係る変動証拠金を含みます。

10,000 ドルの初期投資のパフォーマンス

2014年9月8日-2023年10月31日



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」といいます。）が本ファンドの投資アドバイザーです。かかる地位の下、ファーストトラストは、本ファンドのポートフォリオへの投資の選定及び継続的監視のほか、当該ポートフォリオの運用に必要なその他一定の業務について責任を負います。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

ジョン・ガンブラーCFA、ファーストトラスト、オルタナティブ投資チームのシニア・ポートフォリオ・マネジャー

ロブ・A・ガットショーCFA、ファーストトラスト、オルタナティブ投資チームのシニア・ポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。各ポートフォリオ・マネジャーは、2014年よりかかる地位の下で本ファンドのために職務を遂行しています。

解説

本ファンドは、アクティブ運用型の上場投資信託（以下「ETF」といいます。）です。本ファンドの投資目的は、投資家に対する長期のトータルリターンを提供を追求することです。本ファンドは、米国の上場有価証券及びETFのポートフォリオにおいてロング・ポジション及びショート・ポジションを取ることにより投資目的を追求します。本ファンドは、通常の市場環境の下では米国の上場エクイティ証券及び／又は米国の上場エクイティ証券へのエクスポージャーを提供する米国のETFへのエクスポージャーを純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも80%とします。

全般的な市場動向

2023年10月31日に終了した12カ月間における米国の経済成長は堅調でした。実質国内総生産は、同期間の最初の3四半期に平均2.3%（年率換算）拡大し、同期間の第4四半期は年率換算で4.9%と力強い伸びとなりました。米国労働統計局の非農業部門雇用統計が判断する米国の労働市場は、同期間中の米国経済に292万人の雇用が創出されたことで同期間における雇用の力強い伸びを示しました。米国の労働力参加率が0.5%増加し、政府主導の新型コロナウイルス感染症に伴う一時休業の前月である2020年2月以降では2番目に高い2023年9月比で0.1%減の62.7%に上昇したように、雇用が堅調に伸びたことでより多くの労働者を経済に引き戻しました。同期間中、好調な雇用市場により名目賃金が上昇し、前年同期比4.1%増となりました。賃金の伸びのすべてではありませんがその大部分がインフレにより相殺され、消費者物価指数は前年同期比3.2%増となりました。

2022年3月に始まった連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）の利上げプログラムは、インフレ率を2022年6月の前年同月比ピークである9.1%から直近の前年同月比の3.2%まで低下させることに成功しました。その過程で、短期のフェデラ

ルファンド金利誘導目標は 0.25%から 5.50%に上昇しました。フェデラルファンド金利誘導目標の上昇に伴い、すべてではないにしても米国の大半の金利が上昇しています。米国の消費者に最も関係するのは、期間 30 年のコンフォーミング住宅ローン金利の引き上げです。Bankrate.com によると、当該金利は期中に 0.84%上昇し、FRB がフェデラルファンド金利誘導目標の引き上げを開始する直前の 2022 年 2 月からは 3.76%上昇しました。

S&P500®Index で表される米国株式市場は期中に反発し、10.14%上昇しました。ChatGPT の発売をきっかけに人工知能業界に関連する、又は人工知能業界でビジネスを展開するテクノロジー関連株が大きく上昇したため、S&P500®Index のリターンはテクノロジー関連株が特に好調でした。Bloomberg U.S. Aggregate Index で表される債券は、期中に小幅上昇 (0.36%) となった一方、高リスクのハイイールド債 (Bloomberg U.S. Corporate High Yield Bond Index) は 6.23%上昇しました。商品市場は下落し、Bloomberg Commodity Index は期中に 2.97%下げました。

本ファンドのパフォーマンス

2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間における本ファンドのリターンは、市場価格ベースで 10.09%、純資産価額ベースでは 10.09%でした。本ファンドのベンチマークである S&P500®Index (以下「ベンチマーク」といいます。) のリターンは、同期間中は 10.14%でした。

同期間におけるポートフォリオのネット・ポジション (ロング・ポジションからショート・ポジションを差し引いたもの) は、期首時点の 54.3%から期末時点は 51.0%に減少しました。この減少は、ショート・ポジションの規模が 2.9%拡大し、ロング・ポジションが 0.4%縮小したことによるものでした。

独立した投資としての本ファンドのロング・ポジションはベンチマークに対してアンダーパフォームし、情報テクノロジー、ヘルスケア及び通信サービスの各セクターの銘柄選択がマイナス値を増加させました。工業及び金融の各セクターの選択がマイナスの相対パフォーマンスを一部相殺しましたが、選択全体が依然として本ファンドのロング・ポートフォリオの足を引っ張る要因となりました。、本ファンドが概して通信サービス及び情報テクノロジーの各セクターをアンダーウェイトし、エネルギー・セクターをオーバーウェイトとしたため、ロング・ポートフォリオ内では、ベンチマーク内の 11 セクターへの本ファンドの配分も相対パフォーマンスを低下させました。同期間中は、通信サービス及び情報テクノロジーの各セクターがベンチマーク内で最もパフォーマンスの良い 2 セクターでした。エネルギー・セクターは、ベンチマーク全体のリターンに約 12%の差をつけられました。

同期間中、ショート・ポートフォリオは絶対ベースでも相対ベースでもトータルリターンを大幅に増加させました。ショート・ポートフォリオは概して期中に値下がりし、本ファンドの絶対リターンを増加させ、ロング・ポートフォリオがベンチマークに対して経験した相対的なアンダーパフォーマンスの大半を相殺しました。ショート・ポートフォリオ内では、工業、情報テクノロジー、金融及び通信サービスの各セクターにおける個々の銘柄選択により本ファンドは特に好調でした。また、同期間中における本ファンドのナスダック先物と Russell 2000®先物のショート・ポジションが相対リターンと絶対リターンを増加させました。

全体として見ると、本ファンドは、ボラティリティを大幅に抑えることにより、同期間中は管理されていないヘッジなしのベ

ンチマークのリターンとほぼ同水準のパフォーマンスとなりました。

市場及び本ファンドの見通し

現在、本ファンドは、投資家に長期のトータルリターンを提供することを目指すという投資目的を達成する上で良好なポジションにあると考えられます。本ファンドは幅広い米国エクイティ証券に投資しており、ネット・マーケット・エクスポージャーは、管理されていないベンチマークのエクスポージャーが 100%であるのに対して約 51.0%となっています。収益品質モデルにより評価される長期の高品質の株式と短期の低品質の株式を組み合わせた広く分散されたポートフォリオにより、本ファンドは投資家に長期のトータルリターンを提供することを目指すという投資目的を達成し続けていく上で良好なポジションであると我々は考えています。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月1日 時点の口座開始 価値	2023年10月31 日時点の口座終 了価値	6カ月に基づ く年間費用比率 (a)	6カ月に支払 われた費用 (a) (b)
ファーストトラスト ロングショート株式ETF(FTLS)				
実際	\$1,000.00	\$1,033.20	1.45%	\$7.43
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,017.90	1.45%	\$7.38

(a) 年間費用比率及び6カ月に支払われた費用には、本ファンドの投資先である各ファンドの手数料及び費用が含まれていません。

(b) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたもの

であり、さらに 184/365（6 カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$660,840,693
現金	37,241,567
未決済の先物契約の担保としてブローカーに預託されている現金	3,024,176
制限付預金	253,808,732
受取勘定:	
売却された投資有価証券	2,366,517
配当	465,848
信用取引利息の割戻し	412,077
税還付	18,268
資産合計	<u>958,177,878</u>

負 債:

空売りされた投資（評価額）（手取金：\$252,256,074）	222,486,895
支払勘定:	
交換された本ファンドのシェア	2,627,131
投資顧問料	595,328
変動証拠金	438,635
空売りされた投資に係る配当	147,559
負債合計	<u>226,295,548</u>

純資産	<u>\$731,882,330</u>
-----------	----------------------

純資産の内訳:

払込資本	\$774,528,615
額面価額	138,500
分配可能利益（損失）累計額	<u>(42,784,785)</u>

純資産	<u>\$731,882,330</u>
-----------	----------------------

シェア1口当たり純資産価額	<u>\$52.84</u>
---------------------	----------------

発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>13,850,002</u>
---	-------------------

投資（取得額）	<u>\$660,732,035</u>
---------------	----------------------

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

配当.....	\$12,477,262
信用取引利息の割戻し.....	8,133,082
利息.....	1,071,853
信用取引利息収入.....	193,983
外国源泉徴収税.....	(130,579)
その他.....	39
投資利益合計.....	<u>21,745,640</u>

費用:

投資顧問料.....	6,212,134
空売りされた投資に係る配当費用.....	3,131,684
信用取引利息費用.....	218,382
費用合計.....	<u>9,562,200</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>12,183,440</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:

投資.....	(11,630,767)
現物交換.....	24,136,529
先物契約.....	(3,041,018)
空売りされた投資.....	613,222
正味実現利益（損失）.....	<u>10,077,966</u>

未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:

投資.....	17,026,599
先物契約.....	2,145,153
空売りされた投資.....	18,019,971
未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>37,191,723</u>
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>47,269,689</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$59,453,129</u>

純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$12,183,440	\$1,938,181
正味実現利益（損失）	10,077,966	19,456,397
未実現増価（減価）の正味変動額	37,191,723	(36,459,915)
運用による純資産の正味増加（減少）額	59,453,129	(15,065,337)
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(11,138,147)	(701,300)
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	358,122,265	184,437,643
交換済シェア費用	(199,319,719)	(73,660,960)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	158,802,546	110,776,683
純資産の増加（減少）額合計	207,117,528	95,010,046
純資産:		
期首	524,764,802	429,754,756
期末	\$731,882,330	\$524,764,802
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	10,750,002	8,550,002
売却されたシェア数	7,100,000	3,700,000
交換されたシェア数	(4,000,000)	(1,500,000)
期末における発行済シェア数	13,850,002	10,750,002

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額	\$48.82	\$50.26	\$41.86	\$41.67	\$38.47
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	0.96 ^(a)	0.19	(0.10)	0.05	0.39
実現及び未実現の正味利益 (損失)	3.93	(1.56)	8.63	0.25	3.23
投資運用による合計額	4.89	(1.37)	8.53	0.30	3.62
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(0.87)	(0.07)	(0.13)	(0.11)	(0.42)
期末における純資産価額	\$52.84	\$48.82	\$50.26	\$41.86	\$41.67
トータルリターン ^(b)	10.09%	(2.74) %	20.41%	0.74%	9.49%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$731,882	\$524,765	\$429,755	\$301,375	\$245,867
平均純資産に対する費用合計の比率 ^(c)	1.46%	1.41%	1.36%	1.55%	1.60%
平均純資産に対する費用合計の比率 (配当費用 及び信用取引利息費用控除後) ^(c)	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比 率	1.86%	0.40%	(0.28)%	0.09%	1.03%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(d)	280%	223%	250%	250%	210%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(c) 本ファンドは、本ファンドが投資する原ファンドが負担する手数料及び費用の比例的割当分を間接的に負担します。この比率には、これらの間接的な手数料及び費用は含まれていません。

(d) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。